

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホームぶなの里

作成日: 平成 28年 1月 15日

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	35	状態の違う入居者を安全に避難できる誘導方法(避難用具の使い方も含め)が緊急でも誰もができる体制に課題がある。	安全に誘導できる工夫や方法を一人一人が身につけられるようにする。近隣住民の方と日頃から関係性が築けるよう働きかけ、協力体制へと導けるようにする。	夜間想定訓練などの際、どこまでできるのか、力不足はどこなのかを把握し、近隣への協力体制整備のひとつとする。	12ヶ月
2	33	看取りについて経験がないため、身近に感じられず、不安ばかりが大きいようである。	看取り・終末期の対応について職員の不安を和らげ、実践力につなげられるようにする。	看取り・終末期に事業所でできる対応について職員が周知され、身近なこととして受け止め、実践出来るように社内研修や外部研修に参加してもらう。	12ヶ月
3	7	研修参加した職員が資料の回覧などで終了することが多く、周知あるいは参加者もその場限りになってしまうこともあり、学びが生かされていないことが多い。	学ぶことの大切さと学んだことをほかの職員と分かち合い、自分の介護力につなげたり意欲となるようにする。	研修に参加した職員の報告書を作成し、参加した職員には記入、記録し各階にて周知してもらう。	6ヶ月
4	19	遠方の家族とも支え合うのに、まずこちらから働きかける機会が少ないと諦めがあることに反省を感じている。	家族と共に過ごせる時間を折にふれ、機会が持てるように行事であったり、衣類の交換であったり、皆で支援していく関係づくりをする。	行事の見直しから始め、家族と関われるアイディアを出し合い、計画実行する。次に一人一人の入居者と家族の関係について見直し、気兼ねなく面会や来訪出来るようにしたい。	12ヶ月
5					ヶ月